東アジア文化都市 2026 松本　閉幕式
「第九」演奏会　指揮者・ソリストのご紹介

矢崎彦太郎 Hikotaro Yazaki

◆指揮 conductor



©Concerto

上智大学数学科に学び、さらに東京藝術大学指揮科で指揮法を学ぶ。日本フィルハーモニー交響楽団指揮研究員として小澤征爾氏の助手を務めた後、ヨーロッパに渡る。ブザンソン国際指揮者コンクール入賞など。1975 年ボーンマス交響楽団を皮切りに本格的に指揮活動を開始、BBC 交響楽団などに招かれる。1979 年よりパリに拠点を移す一方、同年には東京交響楽団定期演奏会を指揮し日本でも本格的なデビューを果たす。これまでに、東京交響楽団指揮者、旧西ドイツホフ交響楽団音楽監督・首席指揮者、フランス国立トゥールーズ室内管弦楽団、ノルウェー放送管弦楽団、及び東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団首席客演指揮者、バンコク交響楽団音楽監督･首席指揮者、ジャカルタのヌサンタラ交響楽団音楽監督などを歴任。2000 年フランス政府より芸術文化勲章シュヴァリエを、2008 年には同オフィシエ勲章を受勲。02 年エクソンモービル音楽賞奨励賞を受賞。2012 年度文化庁「文化交流使」。パリと東京に活動拠点を置く。

三井清夏 Sayaka Mitsui

◆ソプラノ soprano



上田市出身。長野県小諸高等学校音楽科卒業。国立音楽大学声楽科卒業、並びにオペラソリストコース修了。同大学院オペラコース修了。二期会オペラ研修所マスタークラス修了、奨励賞及び優秀賞受賞。オクタヴィア・レコードより MOZART SINGERS JAPAN『ドン・ジョヴァンニ』、『フィガロの結婚』、『騙された花婿・カイロの鶯鳥』の CD をリリース。長野県小諸義塾高等学校音楽科特任講師、信州国際音楽村少年少女合唱団指導者。二期会会員。信州アーティスト活動促進事業「next」登録アーティスト

小巻風香 Fuka Komaki

◆メゾ・ソプラノ mezzo soprano



©Shimura_Midori

長野市出身。東京藝術大学音楽学部卒業。大学を卒業と同時に東京混声合唱団に入団。ヴィヴァルディ《グロリア》、ヘンデル《メサイア》、モーツァルト《レクイエム》、J. S. バッハ《ミサ曲ロ短調》などの作品でソリストを数多く務める。東京、長野を中心にコンサートの開催、幅広い層の歌唱指導やヴォイストレーニングなどを行っている。コーロ・リベロ・クラシコ、プロムジカ使節団などの録音や公演に参加。バッハ・コレギウム・ジャパン声楽メンバー。
東京混声合唱団団員。

チャールズ・キム Charles Kim

◆テノール tenor



ソウル国立大学、カーティス音楽院で声楽を学ぶ。2002 年から 2011 年までドイツ・ドルトムント市立歌劇場の専属ソリストを務め、以後フリーランスとして世界各地で活動。ヘルデンテノールとして《さまよえるオランダ人》、《タンホイザー》、《ニーベルングの指環》、《トリスタンとイゾルデ》、《パルシファル》などでアーリンダル、ローエングリン、パルジファル、ジークムント、エリック等を歌う。このほか《トスカ》《イル・トロヴァトーレ》、《椿姫》といったオペラや第九、「大地の歌」、ヴェルディ「レクイエム」などをレパートリーとしている。

近藤 圭　Kei Kondo

◆バリトン baritone



長野県出身。国立音楽大学卒業、同大学院を首席で修了。新国立劇場オペラ研修所修了。ローム・ミュージック・ファンデーション奨学生としてドイツ・ハンブルクにて研鑽を積む。小澤征爾音楽塾《カルメン》ダンカイロ、小澤征爾氏指揮《子どもと魔法》大時計・雄猫など数多くのオペラ公演に出演。セイジ・オザワ 松本フェスティバル《フィガロの結婚》ではフィガロ役のカヴァー歌手を務め、「子どものためのオペラ」では同役で出演。また、バリトン四人組『ハンサム四兄弟』の三男としても活躍中。2025 年 11 月には長野県小海町で新作オペラ《くじらの夫婦》（作曲：西下航平）の企画・台本・演出を務め好評を得た。二期会会員。